



高齢者複合施設 こもればい館

☀️ ダイエットよもやま話 🌿

共和病院 診療部
部長 山田 恵一

4月から診療部長に就任した内科医師の山田です。共和病院では4月から新たに高橋・伊藤の2人の内科医師を迎えました。それぞれ消化器内科・内分泌内科が専門です。フレッシュな2人に関連し、かつトレンドに乗った話題がふさわしい。というわけで、今回は「ダイエット」の話です。

内分泌科の領域ですが、「マンジャロ」という薬をご存じでしょうか。SNSでも度々取り上げられています。週に1回自己注射を行うと、食欲が抑えられて、1年間で5～10kgも痩せると報告されています。保険診療では適応が糖尿病に限定されておりますが、減量を目的として自費診療でマンジャロを使用している方もおります。これがなかなか高額で、「何千円ですか?」「いいえ、何万円です。マンジャロってくらいですから。」当院でも処方を行なっておりますが、糖尿病の方に限定しております。

食事療法、薬物療法以外にも、手術で胃を切ってしまうなど大掛かりな治療法もあります。消化器内科の領域にも、胃の中に巨大なバルーンを膨らませた状態で置き、胃の容積を少なくするという治療があるんです。私が耳にした症例を紹介します。50歳代の男性、100キロを超える肥満です。過去にもいろいろな

ダイエットを試しますが全て失敗。胃内バルーン留置術を希望し、神妙な面持ちで病院を受診します。こちら保険外診療になりますので、費用も高額ですし、本人としてはこれが最後の挑戦と考えております。無事バルーンの留置が終わりますと、胃の容積が小さくなったので、本当に食べられない。でも決して満腹感には得られない。もともと食べることが生き甲斐みたいな方ですから、体重が減る一方で、どんどん気分も落ち込んで、元気がなくなっていく。ある夜、部屋の片隅で、両腕で膝を抱え込むようにうずくまり、「俺、このままダメになっちゃうのかな。」と、深いため息をついた瞬間、バーン!と、お腹の中で大きな破裂音が響いた。その瞬間から溢れ出す食欲。それを拒むことなく受け入れる身体。彼は元気を取り戻した。

この日の出来事を後に彼はこう語る。「太っててもいい。好きなだけ食べて生きていこう。もう迷わない。あの時、僕の中で何かが弾けた。」何かが弾けた。字面はカッコいいですが、風船が割れただけですよね。

誰も健康への不安や関心はあると思います。お気軽に相談してください。地域の病院として親しみやすさを感じて頂けたら幸いです。



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

高齢者複合施設 こもれび館 & 認知症対応型グループホーム ほおの木がオープンしました!



以前、当誌において起工式のご紹介をさせていただいた高齢者複合施設が、去る5月22日に落成式・開所式を迎え、正式にオープンいたしました。施設の名称は『高齢者複合施設 こもれび館』です。館内には、『認知症対応型グループホーム ほおの木』『訪問看護ステーション ソレイユ』『相談支援事業所 みらい』の各事業所が入っています。また、来年4月には、在宅介護と施設介護の間の架け橋となる事業の『小規模多機能型ホーム ゆりの木』（「通い（デイサービス）」を中心に、「泊まり（ショートステイ）」、「訪問（ホームヘルプ）」の3つのサービスを柔軟に組み合わせて提供を行う事業所）が1階にオープンします。先行して開設した認知症対応型グループホーム等と合わせ、地域で暮らし



ホームページ



Instagram

続けたいという地域住民の方々の願いをかなえる、介護サービスの新たな拠点となります。様々な介護サービスをお一人おひとり、その時その時のニーズに合わせて、きめ細かく提供し続けていくことが「認知症不安ゼロのまち おおぶ」の実現に繋がっていくと思います。そのマイルストーンとなれるよう、スタッフ一丸となって良質なケアの提供に取り組んでいきたいと思っています。

在宅介護事業部 次長 今村 諭史

認知症対応型グループホーム ほおの木



ほおの木の紹介

当法人職員のスキルアップに向けた 国家資格及び認定資格の合格者を紹介します

精神科専門医	葉山 泉（精神科）	日本栄養治療学会 NST 専門療法士	加藤 利絵（栄養課）
認知症臨床専門医	高橋 峻平（精神科）	介護福祉士	南川 由紀（南天）
アルコール依存症臨床医等 研修（医師コース）終了	川崎 有理（精神科）	日本防災士機構認定 防災士	稲田 朋也（医療福祉課）
日病薬病院薬学認定薬剤師	永田 優美子（薬剤課）	日本防災士機構認定 防災士	前田 純弥（施設管理）

共和病院では、外来～入院～退院を通して、様々な部署・職種によるサポートを行なっております。
毎号それぞれの部署・職種を紹介しています。

作業療法課



当院の作業療法課には、12名の作業療法士が在籍しており、主に精神科の入院患者様のリハビリテーションを担当しています。それぞれの患者様が「その人らしい生活」を取り

戻せるよう、その人にとって馴染みのあるプログラム（作業）を用いて、「こころ」と「からだ」の両面からサポートを行なっています。

患者様のニーズや目的に応じて、スポーツや手工芸、音楽などさまざまなプログラムを実施していますが、昨

年より「入院から退院後の地域生活に向けたシームレスな支援」を目的に2つのプロジェクトを開始しました。長期入院患者様の地域移行支援を目的とし、近隣のグループホーム見学や、地域で生活する方々の声を聞く、『A-4病棟チャレンジプロジェクト』と、患者様の活動選択の幅を広げ、退院後も馴染みのある環境でのリハビリテーション継続を目的とした、『デイケアとの合同プログラム』です。いずれのプログラムも多職種で立案・計画・運用し、幅広い視点で患者様をサポートしています。

当院では、各病棟に担当作業療法士が勤務しておりますので、生活上の希望や困りごとをぜひお聞かせ下さい。方法を一緒に考え、一緒にあなたらしい生活を見つけてみましょう。

作業療法課 古橋 雅美



笑顔で暮らす毎日を、訪問看護から地域へ

私たち訪問看護ステーションアイリス大府は開設から4年が経過し、利用される方がより満足し地域で安心して生活が送っていただけるよう、このたび東浦町にサテライトを開設しました。これまで以上に皆さまのお住まいの地域に近い場所から、訪問看護をお届けできる体制となりました。

住み慣れた家で、いつものように笑顔で暮らしていただきたい。私たちはその思いを大切にしながら、「自宅で過ごしたい」という願いを支えるお手伝いをしています。

今回のサテライト開設により、東浦町周辺（刈谷市・碧南市・高浜市）への訪問がよりスムーズになり、これまで以上に迅速できめ細やかな対応が可能になります。かかりつけ医、関係機関のみなさまとも連携し、その方らしい在宅療養の形を一緒に考えていきます。

これからも、アイリス大府事業所と東浦サテライトが一つのチームとして力を合わせ、「訪問看護があるから安心して暮らせる」と感じていただける地域づくりを目指します。

患者さん、ご家族、関係機関のみなさま、ご質問やご相談がございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。私たちは、みなさまの暮らしにそっと寄り添う存在でありたいと思っています。



訪問看護ステーションアイリス大府
所長 石坂 裕教

お問合せ先（アイリス大府）

電話:0562-85-3682
FAX:0562-85-3683



ホームページ



Instagram

編集後記



梅雨が明け、太陽のまぶしい季節になりました。あっという間にセミが鳴き始め、本格的な夏の訪れを感じています。年齢と共に、暑さにはめっぽう弱くなりましたが、夏ならではの楽しみには挑戦したい！今年も海に、花火に、お祭りに、物価高にひるむことなく、ワクワクできるものを求

めて邁進していきたいと思います。まずはぐっすり眠れるように、体力作りから始めようかな・・・皆様はどのような夏を過ごされるのでしょうか。

広報委員会 加藤 利絵



病児保育室でんぐりのご案内

当法人では、共和病院に隣接した共和会たんぽぽ保育園の2階で、病児保育を行なっています。

病児保育では、お子さま一人ひとりに寄り添った丁寧な保育を心がけています。

たんぽぽHP



- 対象** 1歳～小学6年生
- 時間** 平日9:00～17:30 ※今秋拡大予定
- 料金** 大府市250円/30分、他市350円/30分
- 予約** Webシステム「テオテ」利用
- 定員** 1日3名

指定医療機関（みつばクリニック）の受診が必要です



特徴

- 共和会たんぽぽ保育園の保育士が病児保育室に移動し対応します。
- 看護師が1時間ごとに検温を実施し、体調の変化をしっかりと確認します。
- 絵本やおもちゃを多数で用意し、安心して過ごせる環境です。
- 定員3名までの少人数制、一人ひとりに合わせて個別対応します。

お子さまの急な発熱や体調不良でお困りの際も、医療機関ならではの安心できる環境でお預かりいたします。

保護者の皆さまが安心してお仕事やご用事に専念できるよう、スタッフ一同サポートいたします。

詳しくは「病児保育でんぐり」のホームページをご覧ください。

（ご利用いただけない病気もあります。「利用判断基準」について必ずご確認ください。）



看護師 濱口 由美子



★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

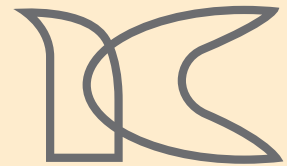
ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞ください。

**おもいやり共和の
キラキラチアナイト**



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

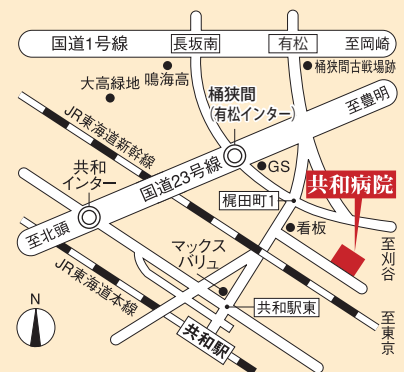
- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベラアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

～当院の基本方針～

- 患者さまや利用者さまの大切な権利をしっかりと守ります。
- 安全で安心できる、質の高い医療、介護サービスを提供することに努めます。
- 地域と医療・介護との切れ目のないサービスを提供します。
- 思いやりをもち、お互いの立場を尊重します。

～患者・利用者さまの権利～

- 個々の状態に応じた医療、介護を平等に受けることができます。
- 医療行為の説明に納得し、自己決定することができます。
- ただし、必要に応じ主治医の判断によってご家族、代理の方に説明をする場合もあります。
- 治療における個人情報保護されます。
- 暴力や虐待を受けることなくあなたの人格は尊重されます。
- 外部医療機関の医師の意見を聞くことができます。（セカンドオピニオン）
- 退院、退所後の地域生活を支援するサービスを受けることができます。
- 退院請求・処遇に関する不服申し立てを行うことができます。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・内分泌内科
精神科・心療内科・脳神経内科
放射線科・リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

テーマは
みんなで繋がる

今年もやります！ 第15回 共和病院文化祭

てんてん祭り

10月10日 土

最新情報はコチラ

